

# 平成23年台風12号災害（気象状況）

## ■台風12号の特徴

台風12号は、「台風目」が直径200kmもあるドーナツ型をしており、中心よりも外側の「アウターバンド」と呼ばれる部分で積乱雲が発達した。今回の被害の大きさには、下記の原因が挙げられる。

### ①動きの遅さ

日本付近にあった高気圧が台風に行く手を阻み、時速10kmと遅い速度で進んだため、長時間にわたって大雨が続いた。

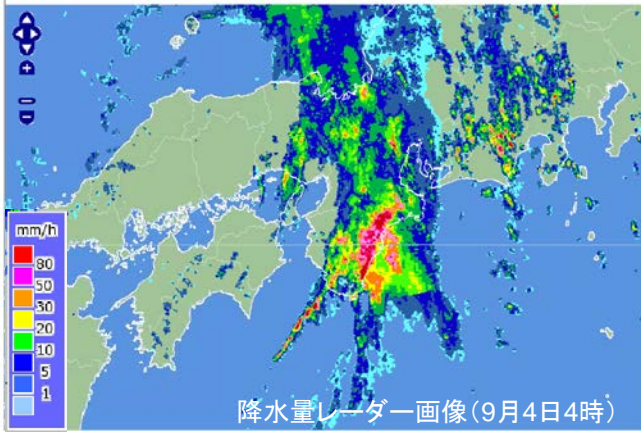
### ②雨雲が広範囲にわたった

風速15mの強風域は直径1,000km以上、25m以上の暴風域は、東京一名古屋間がすっぽり入る直径400km程であったため、被害が広範囲に及んだ。

### ③紀伊半島の地形

三重県南部は、海拔の低い沿岸部から一気に標高1,500m近い紀伊山地に続く急斜面が広がるため、雲が発生しやすい地形であり、湿った空気が吹き付けやすく、豪雨の原因となった。

## ■気象状況



### ■弓山地点の雨量状況

総雨量 : 1 3 5 6 mm (65時間)  
24h連続雨量 : 1 0 1 1 mm  
時間最大 : 1 1 2 mm

#### 【参考】

津市年間降雨量 (2010年) : 1623.5mm  
(データ元 : 気象庁統計情報より)

### 雨量規制区間の雨量データ

地点: 弓山

降雨状況

観測所名: 弓山テレメータ

